

第5回 新みやしろ郷土かるた制作委員会 議事録

日時	平成28年8月9日(火) 18時~20時20分
会場	宮代町役場 204会議室
出席	委員：田中委員長、岡本、鈴木、青柳、青木、浅倉、松本、石川 事務局：佐藤室長、田中、小林 (敬称略・順不同)
欠席	関根副委員長、栗本
傍聴	なし

1 次第

- (1) 開会
- (2) 挨拶
- (3) 審議 読み句の2次選定
 - ① 採点結果と選定にあたっての懸案事項等の確認
 - ② 仮採用作品の決定
 - ③ 仮採用作品以外の音の選定
- (4) その他
- (5) 閉会

2 議事

(3) 審議 読み句の2次選定

① 採点結果と選定にあたっての懸案事項等

- 採点結果資料(当日配布)を事務局から説明
- 各委員が採点作業を通じて感じた疑問点や課題点などを確認

主な意見・質疑応答等

- 委員 良い作品と感じたものは、似通った表現の作品が多いように思った。少し稚拙な表現に感じたものであっても、自分なりに、町として残した方が良いだろうと思える題材の作品には、意図的に得点を高くするように採点した。
- 委員 良い作品が、同じ音に集中していると思った。また、題材を軸におきながら選定を進めていくと、音によっては、採点が厳しい(題材の重複や不足により作品を選びにくい)ものが何点かあった。また、言葉の前後を入れ替えると良くなる作品も見受けられた。それから、現在行われていない行事の評価に迷ったこと、題材の解釈を勘違いしているように思える句もあった。
- 事務局 既に行われていない伝統的行事を、どのように評価するかは課題。将来的に復活することを期待する、あるいは、かるたにして、未来に伝えていくという考え方もできると思う。
- 委員 私は、小中学校を題材とした句については、あえて点を付けなかった。学校の句を採用するのであれば、すべての学校の句を残す必要があると思うが、全部の学校の句が、選定の最後まで残るとは思えなかった。また、今後、学校の統廃合が進むことも考えて、そのように対応した。
- 委員 宮代のかるただから、あえて「宮代」という言葉を使わなくても良いと思う。その視点で考えると、宮代という言葉がしつこく使われているように感じるがあった。
- 委員 私は、題材の内容については、あまり深く考えずに採点した。題材の優劣は、制作委員会の

会議で決定することだと考えた。ただし、民間の施設である東武動物公園、日本工業大学については、過度の宣伝につながらないように、という視点で多くは選ばないようにした。一方で、小中学校の句は、各学校1句ずつくらいは残るだろうと思っている。

委員 島村盛助の句は、ぜひ採用しておきたい。元町長の斉藤甲馬も取り上げた方が良いでしょうと思う。

委員 ホタルを題材とした句について、気になった部分がある。ホタルが生育する豊かな自然という趣旨の句が多かったが、新しい村で見られるホタルについては、人がある程度飼育したものを、放虫（自然に放す）しているもの。純粋な自然とは異なる部分があるので、その点をどう考えたらよいか、難しい。

事務局 事実に対する誤認があるという部分では、子供たちの教材としてのかかる役割を鑑みると課題だと思う。

事務局 選定にあたって、事務局として気になっている点をご紹介したい。まず、小中学校の取扱いについては、前回会議でも説明したとおり、1校だけが採用という状況は好ましくなく、小中学校全校あるいは小学校のみ全校という形にする必要があると思う。町の木、町の花についても、どちらか一つではなく、セットでの採用が基本になると思う。また、姫宮神社と身代神社についても、どちらか一つというのは難しいと思う。町民体育祭と町民文化祭についても同じようなことが言えると思う。

② 仮採用作品の決定

- 資料に沿って、仮採用作品の決定方法について事務局から説明した。
- 採点結果の得点順に整理した資料を使用し、一句ずつ確認した。

決定事項

■2次選定の得点上位32作品の中から、仮採用13作品、保留9作品を決定

●仮採用作品

	<音>	<句>	<題材>	<得点>
1	「あ」	憧れと 夢がつまった どんぐりピアノ	どんぐりピアノ	25点
2	「い」	憩いの場 町のシンボル 進修館	進修館	28点
3	「く」	ぐるるでは 泳いで投げて 走ろうよ	ぐるる（総合運動公園）	27点
4	「さ」	三駅が 絆をつなぐ 宮代町	駅	27点
5	「し」	真蔵院 歴史を語る 仁王像	真蔵院	31点
6	「せ」	せんげんじんじゃ じょうぶにそだてと ねがいこめ	浅間神社（初山）	37点
7	「そ」	そびえたつ いちょうかがやく 宝生院	宝生院・大イチョウ	40点
8	「の」	農の道 四季を楽しむ 散歩道	農の道	28点
9	「む」	むらさきの あまくておいしい 巨峰の実	巨峰	27点
10	「め」	名物は SL運転 日工大	日工大	29点
11	「ゆ」	ゆめのせて 雲の果てにの ハーモニー	雲の果てに	27点
12	「り」	六花にて 医療と福祉 支えてる	福祉医療センター六花	24点
13	「を」	日本語と 英語をつないだ 島村盛助	島村盛助	28点

●保留作品

	<音>	<句>	<題材>	<得点>
1	「ね」	願いこめ ぞうりを奉納 重殿社	重殿社	44点

※ぞうりの奉納が現在行われていない（確認できない）こと、社寺の採用のバランスについても調整が必要であることから保留

- | | | | | |
|---|-----|--|------------|-----|
| 2 | 「つ」 | つゆの夜に ほたる飛びかう ほっつけ田 | ホツツケ・蛍 | 38点 |
| | | ※ホツツケの象徴としてホテルを関連付けた内容が望ましいか判断がつきかねるため保留 | | |
| 3 | 「よ」 | 夜にわく わっしょいかけ声 夏祭り | 町民まつり | 37点 |
| | | ※町民まつり・宮代音頭関連の他の作品と比較し再検討したいため保留 | | |
| 4 | 「む」 | ムラの跡 歴史感じる 前原遺跡 | 前原遺跡 | 32点 |
| | | ※「歴史感じる」という表現に対する違和感、遺跡に関する作品の採用のバランスについて調整する必要があるため保留 | | |
| 5 | 「へ」 | 平安の 美しき姫 宮目姫 | 宮目姫 | 32点 |
| | | ※姫宮神社、身代神社との兼ね合いについて、調整が必要なため保留 | | |
| 6 | 「す」 | 水田を うるわせみたす 隼人堀 | 隼人堀川 | 29点 |
| | | ※川に関する作品の採用について、調整が必要なため保留 | | |
| 7 | 「ね」 | 願いうけ 宮代見守る 姫宮神社 | 姫宮神社 | 28点 |
| | | ※宮代見守るという表現への違和感。身代神社との兼ね合いについて、調整が必要なため保留 | | |
| 8 | 「へ」 | 平穏な 暮らしを祈る 庚申塔 | 庚申塔 | 26点 |
| | | ※同じ「へ」の宮目姫の句（前出）との調整、庚申信仰に対する評価について、改めて検討したいため保留 | | |
| 9 | 「ぬ」 | 沼を掘り 田んぼをひらいた 弥惣兵衛 | 笠原沼・井沢弥惣兵衛 | 32点 |
| | | ※笠原沼、ホツツケの題材との兼ね合いについて、調整が必要なため保留 | | |

主な意見・質疑応答等

事務局 一題材につき一句の採用とし、同じ題材で複数の句を採用しない。既に行われていない行事については、意見が委員間で分かれる場合には保留としても良い。

●願いこめ ぞうりを奉納 重殿社 <保留 △>

委員 ぞうりの奉納の風習は、町全体から見ればマイナーなもの。重殿社の建物も、山崎山の中にひっそり建っている小さなほこらであり、これより大きな規模の社寺とのバランスも考慮する必要がある。

委員 何年か前までは、実際にぞうりがあった。今は見られなくなってしまった。

委員 それであれば、「ぞうりを納めた」と過去形にすれば、採用できるのではないか。

事務局 この作品の得点が高かった背景として、「ね」音の作品数がもともと少なく、点数が入りやすかったという点があると思われる。他の作品と比べると、読みやすさなどから得点が集中したのかも知れない。

委員 古い行事でこのような課題があることを考えると、例えば「キャンドルナイト」のような新しいものに目を向けていく、ということもあって良いと思うが。

事務局 そういう考え方もあると思う。キャンドルナイトは、他の音にも多数の作品があるので、それらとも対比しながら考えていくことが必要。重殿社の句については、保留としたい。

●そびえたつ いちょうかがやく 宝生院 <仮採用 ○>

事務局 宝生院の大イチョウは町の指定文化財。宝生院も、歴史が深い寺である。

全員 ※特に意見なし

事務局 特に意見がなければ、この句は仮採用としたい。

●つゆの夜に ほたる飛びかう ほっつけ田 <保留 △>

事務局 ホツケを題材とした句については、かるたを通じて、笠原沼新田の開発の歴史を子供たちに学んでもらいたいことなどを考えると、ホツケとホタルを結びつけるこの作品をどう評価するか。ホツケについては、笠原沼や井沢弥惣兵衛など、関連する題材が複数に及ぶので、これらも併せて検討する必要がある。題材順に整理した青い帯の資料の7ページの中央に「沼を田に 変えたホツケ 笠原沼」という作品がある。

委員 その「沼を田に 変えたホツケ 笠原沼」という作品が、事実とはぴったり一致する。

事務局 今の段階で、この検討を深めてしまうと、仮採用が進まないのでは、現時点では保留として、次に進みたい。

●節分に みかん飛びかう 五社神社 <見送り ×>

●せんげんじんじゃ じょうぶにそだてと ねがいこめ <仮採用 ○>

事務局 この句（節分に…）について、事務局としては、初代かるたの句と、題材と表現が良く似ている点はやや課題だと考えている。

委員 「飛びかう」という表現からは、みかんを投げ合うというイメージを受けるが、実際には投げ合う行為は行われていない。

委員 次の作品も同じ「せ」音の作品。「せんげんじんじゃ じょうぶにそだてと ねがいこめ」だが、こちらの方が、出来が良いと思う。浅間神社の初山行事のことを詠んだもので、町内に複数ある浅間神社が包含されており、事実とも相違ない。

事務局 そのことを考慮すると、五社神社の句には若干問題もあるようなので、浅間神社の句を採用し、五社神社は採用見送りとしたい。

●夜にわく わっしょいかけ声 夏祭 <保留 △>

事務局 町民まつり、宮代音頭に関する題材は他にも作品がある。比較的選択肢に余裕のある題材の作品である。

委員 夏祭が町民まつりをさしているかどうか、微妙なところ。各地域で行われている祭りも当てはまると思う。

事務局 町民まつり、宮代音頭を、それぞれ一句ずつ残すことは難しいと思う。「よ」音の作品数が少ないことはあるが、町民まつり、宮代音頭の他の作品と比較して改めて検討したほうが良いと思われるため、ひとまず保留で良いか。

●平安の 面影残す 阿弥陀さま <見送り ×>

●平安の 美しき姫 宮目姫 <保留 △>

委員 阿弥陀さまは、宮代には一つしかないものなのか。

委員 西光院の阿弥陀三尊と、地蔵院の阿弥陀如来の二つがある。作品から推測すると、西光院のものを詠んだのではないか、と思われるが。

委員 これを西光院のものとして採用した場合、他の句では西光院に関する題材を採用する必要はないだろう。

事務局 西光院には、宮代町唯一の国の重要文化財である阿弥陀三尊像のほか、徳川家から送られた家康画像など様々な資料がある。それらの優劣を比較するのは難しい。参考に、西光院の他の句を確認すると、良い作品がまだいくつか残っている。一方で、同じ「へ」音の宮目姫の句を見てみると、内容的に間違いはなく、こちらを仮決定としても問題ないと思われる。

委員 宮目姫を採用すると、身代神社との関係が出てくる。そこが悩ましいところ。宮目姫伝説については、県内の他の自治体にも残っている例がある。

事務局 身代神社の句を別に採用し、姫宮神社は、この宮目姫で兼ねているとすることには、少し課題があるかもしれない。

事務局 それでは、「平安の 面影残す 阿弥陀さま」は、阿弥陀さまの作品は他にも選択肢があるため見送りとし、「平安の 美しき姫 宮目姫」を保留としたいが、いかがか。

全員 異議なし

●ムラの跡 歴史感じる 前原遺跡 <保留 △>

事務局 前原遺跡の他の作品は題材順資料の1ページ目。他の遺跡に関する作品もあるので、それらとの対比、バランス調整も考慮する必要がある。

委員 歴史を感じるという表現には違和感がある。もっと具体的に、縄文の歴史を感じるなどの表現の方が、具体的でわかりやすい。

事務局 遺跡については、検討の余地があるようなので、ひとまず保留としたい。

●凜と立ち 季節感じる 大イチョウ <見送り ×>

事務局 これについては、既に大イチョウの題材は採用されたため、こちらは自動的に見送り扱いとなる。

●真蔵院 歴史を語る 仁王像 <仮採用 ○>

事務局 真蔵院を題材とした句は数が少なく、こちらの作品は、30点を超えているので、仮採用ということで問題ないと思う。

全員 異議なし

●水田を うるわせみたす 隼人堀 <保留 △>

事務局 初代かるたには、隼人堀川の句はなく、古利根川と備前堀川のみが採用されている。

委員 備前堀川と隼人堀川では、どちらが重要だったのか。

委員 どちらともいえない。どちらも、それぞれ新田開発に重要な役割を果たした川。それぞれに、歴史を持っている。

事務局 川の取扱いについては、別途検討が必要かもしれない。ひとまず、保留としたい。

●名物は S L 運転 日工大 <仮採用 ○>

事務局 日工大の中の、何の要素に着目するか。S Lもあるが、他にも要素がある。

委員 日工大のS Lは、国の登録有形文化財でもある。その点から考えると、良いのではないかと思う。

委員 初代のかるたの句と、あまり変化がないように感じる。

事務局 スキップ広場にあるS L 40号を題材にした作品も多数ある。それを考慮すると、日工大はS L以外の切り口で考えるのも、一つかと思う。ただ、日工大を題材にした他の作品も、やはりS Lを詠んでいる句が多いので難しい。

委員 ひとまず、点数の高いものを仮採用として、どんどん進めて、問題があるものを調整すれば良いのでは。

事務局 事実との整合性や題材のバランス、初代かるたとの比較なども確認、考慮して、できるだけ確実に作業を進めたいので、ご理解いただきたい。この作品については、とりあえず仮採用として問題ないと思われるがよろしいか。

全 員 異議なし

●憩いの場 町のシンボル 進修館 <仮採用 ○>

事務局 この作品は、進修館を詠んだ句として、また、「い」音の作品としても、第一位。

委 員 進修館は町の顔となる施設。内容的にも、問題ないと思う。

事務局 それでは、仮採用としてよろしいか。

全 員 異議なし

●美しき 宮代の花 ハクモクレン <見送り ×>

事務局 初代の作品「清らかな 宮代の花 ハクモクレン」とかなり似ている。保留にする必要性も低いように思うが、いかがか。

全 員 異議なし

事務局 それでは、この作品は見送りとしたい。

●願いこめ 浅間神社の 初山へ <見送り ×>

事務局 既に浅間神社、初山に関する作品が採用されているため、自動的に見送り扱いとなる。

●願いうけ 宮代見守る 姫宮神社 <保留 △>

事務局 身代神社の存在を考慮すると、姫宮神社だけが宮代見守るという表現は課題が残る。ひとまず、保留ということでよろしいか。

全 員 異議なし

●農の道 四季を楽しむ 散歩道 <仮採用 ○>

事務局 農の道は、新しい村から姫宮神社までつながる用水路沿いの道。内容的には問題なく、点数も高いので、仮採用でよろしいか。

全 員 異議なし

●日本語と 英語をつないだ 島村盛助 <仮採用 ○>

委 員 私は、内容的に的を得ている作品だと思う。

事務局 特に異議がなければ、仮採用としたい。

全 員 異議なし

●ぐるるでは 泳いで投げて 走ろうよ <仮採用 ○>

事務局 ぐるるの名称の由来を詠んでいる。この内容で間違いはない。特に異議なければ、仮採用としたい。

全 員 異議なし

●三駅が 絆をつなぐ 宮代町 <仮採用 ○>

事務局 駅に関する作品も、応募作品としては多かった。現在残っているのは、題材順の資料の3ページ。3つの句がある。これを見ると、この句の点数が頭一つ抜けている。仮採用としてよろしいか。

全 員 異議なし

●むらさきの あまくておいしい 巨峰の実 <仮採用 ○>

事務局 宮代町のイメージカラーは紫色。巨峰の色から着想したもの。ただし、巨峰農家さんに言わせると、良い巨峰の色は黒ということも聞く。色の是非はともかくとして、巨峰の句の必要性については異議がないと思う。巨峰を題材とした他の作品も確認したい。

事務局 「る」音の作品も、巨峰を題材にした高点数の作品がある。この作品も、「る」音でトップの点数をとっている。こちらをどう考えるか。

委 員 大きな問題はないので、ひとまず、仮採用としてよいのではないか。

全 員 異議なし

●ゆめのせて 雲の果てにの ハーモニー <仮採用 ○>

事務局 歌詞は未来に向けてメッセージを発信する内容となっている。特に間違いはない。

委 員 少年少女合唱団のイメージとも合うので、良いのではないか。

事務局 仮採用としてよろしいか。

全 員 異議なし

●平穏な 暮らしを祈る 庚申塔 <保留 △>

委 員 現在、宮代町で庚申信仰に基づいて祭りを行っている地区は一か所ある。祭りの名称に庚申という文言は使われていないが、赤いものを供えている。庚申信仰とは、もともとは道教から始まったものだと思うが、庚申（かのえさる）の日に、体の中の三尸虫（さんしちゅう）が逃げ出してその人の罪を天帝に告げるのを防ぐために一晩中寝ずに語り明かして起きている、というもの。

委 員 今は、平穏な暮らしを祈ってお参りするという風習は、ほとんどなくなってしまっている。

委 員 初代かるたでは、あえて、そういった風習に目を向けよう、という意図もあって、題材として採用されていると思う。

委 員 「へ」音は、既に出た「平安の 美しき姫 宮目姫」との比較も考えなければいけない。

事務局 今日のところは、保留としたい。

●昔から 夢を奏でる ドングリピアノ <見送り ×>

●憧れと 夢がつまった どんぐりピアノ <仮採用 ○>

事務局 いずれもどんぐりピアノを詠んだ作品だが、「む」音の句は既に仮採用がされている。

委 員 「昔から…」を見送り、「憧れと…」を仮採用で良いのでは。

事務局 「憧れと…」を仮採用とすると、既に仮採用とした「名物は S L 運転 日工大」の作者と同じになる。後ほど、この調整をするという前提で進めたい。

●英和辞典 初めて作った 島村盛助 <見送り ×>

事務局 島村盛助の題材作品は、既に仮採用となったものがあるので、この作品は自動的に見送り扱いとなる。

委 員 英和辞典を初めて作ったという言い方は、誤解を生む可能性があるので、少し問題がある。事実は、岩波書店の英和辞書を初めて作ったということである。

●沼を掘り 田んぼをひらいた 弥惣兵衛 <見送り ×>

委員 苗字を入れず、弥惣兵衛だけだと、ちょっと違和感がある。

委員 笠原沼については、弥惣兵衛よりも、ホッツケが入っていれば良いと個人的には思う。

事務局 ひとまず、保留としたい。

●守り神 しずかにねむる 雷電神社 <見送り ×>

●雷電神社 江戸時代の 守り神 <見送り ×>

委員 先ほどの重殿社と同様に、知っている人があまりいないのでは。採用すると、他の神社とのバランスが課題になる。

事務局 この2作品とも、見送りでよろしいか。

全員 異議なし

●六花にて 医療と福祉 支えてる <仮採用 ○>

委員 六花は、町の肝いりで設立した施設。できれば採用したいところ。

事務局 六花を詠んだ他の作品を考慮すると、六花を採用する場合は、この句を使わないと厳しいかもしれない。一方で、宮代音頭の句も「り」音だが、宮代音頭を題材にした作品は、他にも可能性があるものが多数ある。とりあえず、六花の句を「り」音の仮採用とし、宮代音頭の作品は見送りとする方向で良いか。

全員 異議なし

●リズムよく みんなでおどろう 宮代音頭 <見送り ×>

事務局 上記の六花の作品が「り」音で採用されたため、こちらは自動的に見送り扱いとなる。

③ 仮採用作品以外の音の選定

●13作品が仮採用となったことを受け、それ以外の音（作品）については、題材を基準に選定作業を進めていくこととした。

●次の段階として優先的に採用していく題材の検討を行った。

決定事項

■次の段階として優先的に採用していく題材を次のとおり確認した

- | | |
|-----------|------------|
| ●町の木 | ●東武動物公園 |
| ●町の花 | ●ハナレンジャー |
| ●和戸キリスト教会 | ●宮代音頭 |
| ●新しい村 | ●西方院十一面観音像 |
| ●ホッツケ・笠原沼 | ●町立図書館 |
| ●山崎山 | ●古利根川 |
| ●西光院 | ●備前堀川 |
| ●姫宮神社 | ●姫宮落川 |
| ●身代神社 | ●宮代町の名称 |
| ●郷土資料館 | ●小学校（4校） |

主な意見・質疑応答等

事務局 次の段階として、仮採用作品で使われている題材以外で、かるたに採用しておくべき題材を、

15個程度を目安に洗い出し、採用作品を決定していきたい。

- 事務局 かるたは、子供たちの教材としての側面がある。題材の洗い出しにあたっては、個人的な好みというよりも、子供たちに学んでほしい、未来に受け継いでほしい題材、という視点も踏まえて、考えていただきたい。
- 委員 和戸キリスト教会は、埼玉県初のキリスト教会であり、重要度が高い。ぜひ入れたい。
- 委員 題材の重要度を判断するのは、難しいように思う。
- 事務局 それでは、例として言わせていただくと、新しい村はどうか。この段階では、このように、みなさんが、満場一致で素直に認められるものだけを挙げていただければそれで十分。ホツツケ（笠原沼）、山崎山も問題ないだろう。
- 委員 東小の木造校舎は、県内で、実際に使用されている2例しかない貴重なもの。ぜひ、採用すべきだと思う。
- 事務局 学校については、方針を決めておきたい。小学校については、4校すべての作品が残っている。もし、採用するのであれば、小学校1校だけ、という選択は避けるべき。前回会議でも、確認している。
- 委員 小学校については、宮代町の場合は4校それぞれに特徴がある。題材としては十分に意義があると思う。
- 委員 将来的なことも考慮すると、学校の統廃合で学校がなくなった場合に、不都合が生じないか。一般市民も使うことを考えると、小学校だけ入っていて、中学校が入っていないことに対する違和感、不都合の心配は考えられないか。
- 事務局 確かにその視点も考えられるが、統廃合については、中学校の方が、小学校よりも先に進む可能性が高い。また、文化財としての側面を見た場合にも、小学校については、文化財案内板も設置されており、文化財としても評価されている。小学生のため、という視点よりも、文化財としての価値に着目し、小学校を作品として採用した、という考え方で整理すれば良いと思う。
- 委員 町指定の文化財という視点も必要ではないか。できるだけ取り上げる、ということで良いか。
- 委員 細かい物もあるので、そればかりになる必要もない。また、題材として入れたい文化財もあるが、それに見合う作品がなく、厳しい状況もあった。
- 委員 郷土資料館は、子供たちが町の歴史について学びを深めていくための拠点として、重要だと思う。
- 委員 ハナレンジャーも良いと思う。
- 委員 ハナレンジャーは非常に人気がある。
- 委員 宮代音頭も、挙げておきたい。
- 委員 真蔵院を採用したのであれば、西方院も考えておきたい。子供たちに知ってもらいたいという意味では、西方院の十一面観音像がある。町の指定文化財にもなっている。真蔵院の仁王像と同じくらいの価値があると思う。
- 委員 元宮代町長の斎藤甲馬さんを入れたらどうか。宮代町への貢献度では大きなものがあると思う。

- 事務局 齋藤甲馬さんについては、題材解説書を制作する際に、事務局内でも議論があった。まだ歴史的な評価が分かれている、定まっていないと思われ、現時点で題材とすることは適切ではないと考えた。もし仮に20年後に、次のかるた作りがあるとすれば、採用される題材になるのではないかと個人的には思う。
- 委員 宮代町にとっては必要な人だと思う。しかし、歴史上の人物としては、まだ生々しい印象がある。題材としては、難しいのでは。
- 委員 伝承、伝説の題材として、おいてけ堀、ぶっさり地蔵はどうだろうか。
- 委員 宮目姫は、先ほど保留となったが。
- 事務局 題材としては、既にそれなりの数が出そろった。ひとまず、ここまでの題材を軸にして、次の作業に進みたいが、いかがか。
- 委員 備前堀川は、取り上げておくべきだろうか。姫宮落川もある。
- 委員 川も入れておきたい。宮代町は、川が多いことにも特徴がある。河川で町を代表するとなれば、どの川になるか。
- 委員 河川とすれば、古利根川。落堀、用水では、姫宮落川と備前堀川になるだろう。隼人堀も古いが、評価としては何とも言えない。
- 事務局 では、川については、とりあえず古利根川、姫宮落川、備前堀川を入れることにしたい。これを踏まえて、実際の採用では再度調整が必要になると思う。
- 委員 宮代町の名称の由来についても、大事なポイント。入れておきたい。
- 委員 今後の進め方については、できるだけ円滑に行えるよう、事務局で整理していただきたい。
- 事務局 それでは、以上の題材を踏まえて、次回会議に向けた準備を行う。議論の進め方、題材の整理方法などについて、事務局案を用意するので、それをもとに次回の検討を行う。

(4) その他

- 特になし